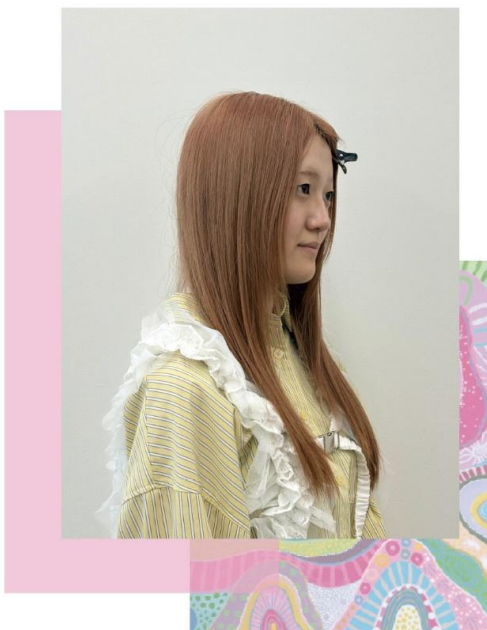


2026 SS
STYLING AWARD

金沢文化服装学院
ファッション総合学科 2年
森 ちあの

モデルのプロフィール



NAME

Reino Yamazaki

山崎 怜乃

AGE

19 歳

HEIGHT

154cm



FASHION STYLE

：カジュアルをベースに、女の子らしさを
取り入れたガーリースタイル

Tシャツやワイドパンツなどのカジュアルなアイテムに加え、レースなどのフェミニンな素材を取り入れるのが好き。その日の気分に合わせて幅広いスタイリングを楽しんでいます。

FAVORITE BRANDS

：LILY BROWN / mikiosakabe / POPPY / Cath
Kidston

HOBBY

：美術館巡り、読書、音楽

COMMUNICATION TYPE

：ブライトタイプ

	目	肌 (頬の色)	髪
色み	ブルーゾーン ゴールドゾーン ブルーベール ゴールドベール 赤茶・黒 黒髪 茶 青みの白 黒髪 黄みの白	ブルーゾーン ゴールドゾーン ブルーベール ゴールドベール ピンク 緑の色 オレンジ	ブルーゾーン ゴールドゾーン ブルーベール ゴールドベール 灰・黒 髪 茶
明るさ	黒目 明るい ライトゾーン 明るい ディープゾーン 暗い 黒目 暗い	肌 明るい ライトゾーン 明るい ディープゾーン 暗い 肌 暗い	髪 明るい ライトゾーン 明るい ディープゾーン 暗い 髪 暗い
あざやかさ	グラデーションゾーン コントラストゾーン おたやか あざやか おたやか 顔と黒髪 あざやか	グラデーションゾーン コントラストゾーン おたやか あざやか おたやか 顔と髪の色 あざやか	

	顔					体
	眉	目	鼻	口	顔の輪郭 彫の深さ	体のライン・骨格
動き	ターナルゾーン 直線 ウェームゾーン 曲線					ターナルゾーン 直線 ウェームゾーン 曲線
大きさ	ライクゾーン 小さい ウェームゾーン 大きい					ライクゾーン 小さい ウェームゾーン 大きい
きわだち	カラーデーションゾーン なじむ コントラストゾーン きわだつ					カラーデーションゾーン なじむ コントラストゾーン きわだつ

	目	肌	髪
デコボコ			カラーゾーン カラームラゾーン フラット デコボコ くせなし 髪 くせあり
かたさ		肌 薄い スキントーン やわらかい イーサーゾーン かない 肌 滑 薄い	髪 やわらかい シェルトゾーン やわらかい イーサーゾーン がたい 髪 がたい
ツヤ	グラデーションゾーン コントラストゾーン マット ツヤ マット 肌 ツヤ	グラデーションゾーン コントラストゾーン マット ツヤ マット 肌 ツヤ	グラデーションゾーン コントラストゾーン マット ツヤ マット 肌 ツヤ

○色の個性

色味 ウォームゾーン

明るさ 明るい

鮮やかさ おだやか

○形の個性

動き 直線

大きさ 小さい

きわだち なじむ

○素材の個性

デコボコ フラット

かたさ やわらかい

ツヤ マット

○特徴

- ・流線形
- ・なだらか

○特徴

- ・なめらかな肌触り

色：クリスタル抜き

肌に透明感があり、ブルーベースの明るくやわらかい色がよく似合います。鮮やかすぎる色よりも、明るくおだやかな色調が魅力を引き立てるため、ブライトゾーンに属します。

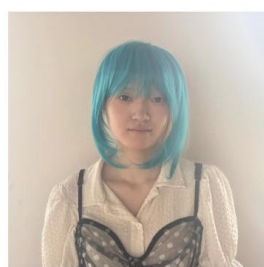
形：アクアティスト

顔立ちは小ぶりで、全体的になじみのあるやわらかな印象です。直線的な要素もありますが強すぎず、自然で親しみやすい雰囲気を持つことから、アクアティストに属します。

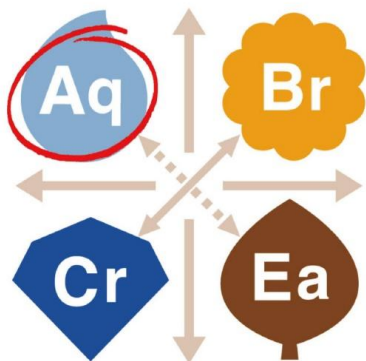
素材：アクアティスト

やわらかくマットな質感や、軽く繊細な素材との相性が良く、シフォンやチュール、レースなどの素材がモデルの魅力をより引き立てます。そのため、素材はアクアティストに属します。

モデルのウィッグ



〈外面分析結果〉



トータル：アクアティスト

色分析ではブライトティストでしたが、形・素材を含めた総合分析ではアクアティストとなりました。透明感のある色使いに加え、小ぶりでやわらかな印象、軽やかな素材感が調和することで、モデル本来の魅力が最も引き立つと考えます。そのため、今回のスタイリングではアクアティストをベースに、ブライトティストの明るい色使いを取り入れ、モデルらしいやわらかさを活かしたアートモードスタイルを提案します。

〈なりたいスタイリングイメージ〉

普段はガーリーやカジュアルを中心とした
スタイリングが多いため、今回は自分にはない
『アートモード』な雰囲気に挑戦したいと考えました。
ただ強いモード系にするのではなく、モデル本人の甘さを残した少女感のある
アートモードスタイルをイメージしています。また、トータル分析では
アクアゾーンに属することから、軽やかでやわらかな印象をベースにスタイリングを
構成しました。色分析ではブライトゾーンに属するため、
明るく透明感のある色を取り入れ、モデルの持つ
華やかさを引き立てています。

〈スタイリングテーマ〉

草間彌生美術館デート

モデル本人のもつ“ガーリーさ”と“感性のあるファッション”を
最も自然に表現できると考えたからです。モデルは普段から、
古着やカジュアルをベースにしながら、レースやチュール、
キャミソールなどを重ねた、甘さのあるスタイリングを好んでいます。
また、LILY BROWN や POPPY、mikiosakabe など、ガーリーさの中にも
少し個性や違和感のあるブランドを好んでいることから、単純なフェミニン
スタイルではなく、“アート性”や“世界観”を感じるファッションが似合うと
感じました。その中で、草間彌生美術館というテーマを選んだのは、
現代アート特有の独特な空間とモデルの持つ繊細で柔らかい雰囲気を
掛け合わせることで、「可愛い」だけではない新しい魅力を
引き出せると考えたからです。

スタイリング提案

〈トップス〉/SCULPTOR

ピンクのパフスリーブブラウスを選び、モデルの甘さを残しました。インナーにドット柄のシアートップスをレイヤードすることで、軽やかさと透明感をプラスし、現代アートらしいスタイリングに仕上がっています。また、異素材を重ねることで「作品の一部」のような印象に仕上げることを意識しました。

〈スカート〉/Nodress

インパクトのある犬のプリントスカートを主役にすることで、アート作品のような存在感を演出しました。あえてオリーブグリーンを選ぶことで、全体を落ち着かせながらも個性的な印象にまとめています。裾のフリルはトップスの甘さともリンクさせ、ガーリーな雰囲気を残しています。

〈シューズ〉/MIKIO SAKABE

ボリュームのある厚底シューズを合わせることで、全体のバランスを整えました。丸みのあるフォルムはアート作品のようなオブジェ感があり、現代アートの世界観とも調和しています。また、足元に重さを出すことで、レイヤードしたトップスやスカートとのバランスを取っています。

〈ヘアアクセサリ〉

草間彌生作品を連想させるドット柄を取り入れ、テーマとのつながりを意識しました。大きめのリボンを合わせることで、モデルの好きなガーリーさ表現しています。



〈タイツ〉

ピンクのタイツを合わせることで、トップスとの色をつなげ、全体に統一感を持たせました。ブラックではなくピンクにすることで、アートモードの中にもやわらかさを感じられるよう工夫しています。



メイク提案



【メイクコンセプト】

アクアティストのやさらかさをベースに、ブライトティストの透明感を取り入れたメイクでアートモードを意識しながらも、メイクは引き算をすることで、レイヤードやドット柄などスタイリングのデザインが主役になるよう仕上げました。

○ベースメイク

透明感のあるツヤ肌を意識し、素肌感を残したナチュラルなベースに仕上げました。

○アイメイク

ピンクベージュやブラウンを使用し、やさしい印象を残しながら目元に奥行きを出しました。アイラインは長く跳ね上げず自然に仕上げることで、少女らしい雰囲気を残しています。

○チーク・リップ

血色感をプラスできるピンク系を使用し、ブライトティストらしい明るく透明感とツヤ感を意識しました。

コメント

スタイリスト(やってみての感想)

今回のスタイリングでは、モデルの好きなガーリーな雰囲気を残しながら、「アートモード」という普段とは異なるテイストに挑戦しました。

外面分析の結果をもとに、アクアティストのやさらかさとブライトティストの透明感を意識し、テーマである「草間彌生美術館デート」に合うスタイリングを考えました。

モデルの好みや個性と、なりたいイメージの両方をバランスよく取り入れることの難しさを感じましたが、一つひとつに理由を持ってコーディネートを組み立てることの大切さを学ぶことができました。

モデルの感想

普段はガーリーやカジュアルなスタイリングが多いので、アートモードな雰囲気に挑戦できて新鮮でした。

最初は自分に似合うか少し不安でしたが、好きなレースやチュールなどの要素が取り入れられていたので、違和感なく着ることができました。

普段は選ばないアイテムや組み合わせにも挑戦でき、新しい自分を発見することができました。